

それぞれの画匠が
こだわりつづけた純粹なまでの発色。
高純度にして高濃度、「作家」のメチエに応えうる
確かな組成を、お確かめ下さい。

ウルトラマリン
ULTRAMARINE
(ビサネルロ ブルー)

コバルトブルーディープ
COBALT BLUE DEEP
(チャマエ ブルー)

セルリアンブルー
CERULEAN BLUE
(ジオット ブルー)

ビリジアン
VIRIDIAN
(ファン・アイク ビリジアン)

カドミウムイエローライト
CADMIUM YELLOW LIGHT
(フランチエスカ イエロー)

カドミウムレッドオレンジ
CADMIUM RED ORANGE
(ギュスターーブ オレンジ)

カドミウムレッドディープ
CADMIUM RED DEEP
(スルバラン レッド)

バーミリオン
VERMILION
(ブリューゲル レッド)

バーンティエンナ
BURNED SIENNA
(ルーベンス ブラウン)

バーントアンバー
BURNED UMBER
(クラナッハ アンバー)

イエローオーカー
YELLOW OCHRE
(マサッチオ イエロー)

アイボリーブラック
IVORY BLACK
(ゴヤ ブラック)

色名	堅牢度	隠蔽力	組成(顔料含有率)	価格
ピサネルロ ブルー (ウルトラマリン)	●●	○	群青 亜麻仁油メディウム	67% 33% ¥1,260
チャマエ ブルー (コバルトブルーディープ)	●●●	○	アルミニ酸コバルト 亜麻仁油メディウム	70% 30% ¥3,150
ジオット ブルー (セルリアンブルー)	●●●	●	錫酸コバルト 亜麻仁油メディウム	84% 16% ¥4,200
ファン・アイク ビリジアン (ビリジアン)	●●●	○	含水酸化クローム 亜麻仁油メディウム	45% 55% ¥2,100
フランチエスカ イエロー (カドミウムイエローライト)	●●	●	硫化カドミウム 亜麻仁油メディウム	75% 25% ¥3,150
ギュスターーブ オレンジ (カドミウムレッドオレンジ)	●●●	●	硫、セレン化カドミウム 亜麻仁油メディウム	74% 26% ¥3,150
スルバラン レッド (カドミウムレッドディープ)	●●●	●	硫、セレン化カドミウム 亜麻仁油メディウム	80% 20% ¥4,200
ブリューゲル レッド (バーミリオン)	●●	●	硫化水銀 体质顔料 亜麻仁油メディウム	77% 9% 14% ¥6,300
ルーベンス ブラウン (バーントシェンナ)	●●●	●	焼成天然土 体质顔料 亜麻仁油メディウム	53% 3% 44% ¥1,260
クラナッハ アンバー (バーントアンバー)	●●●	●	焼成天然土 亜麻仁油メディウム	50% 50% ¥1,260
マサッチオ イエロー (イエローオーカー)	●●●	●	天然土 亜麻仁油メディウム	82% 18% ¥1,260
ゴヤ ブラック (アイボリーブラック)	●●	●	骨炭 亜麻仁油メディウム	38% 62% ¥1,260

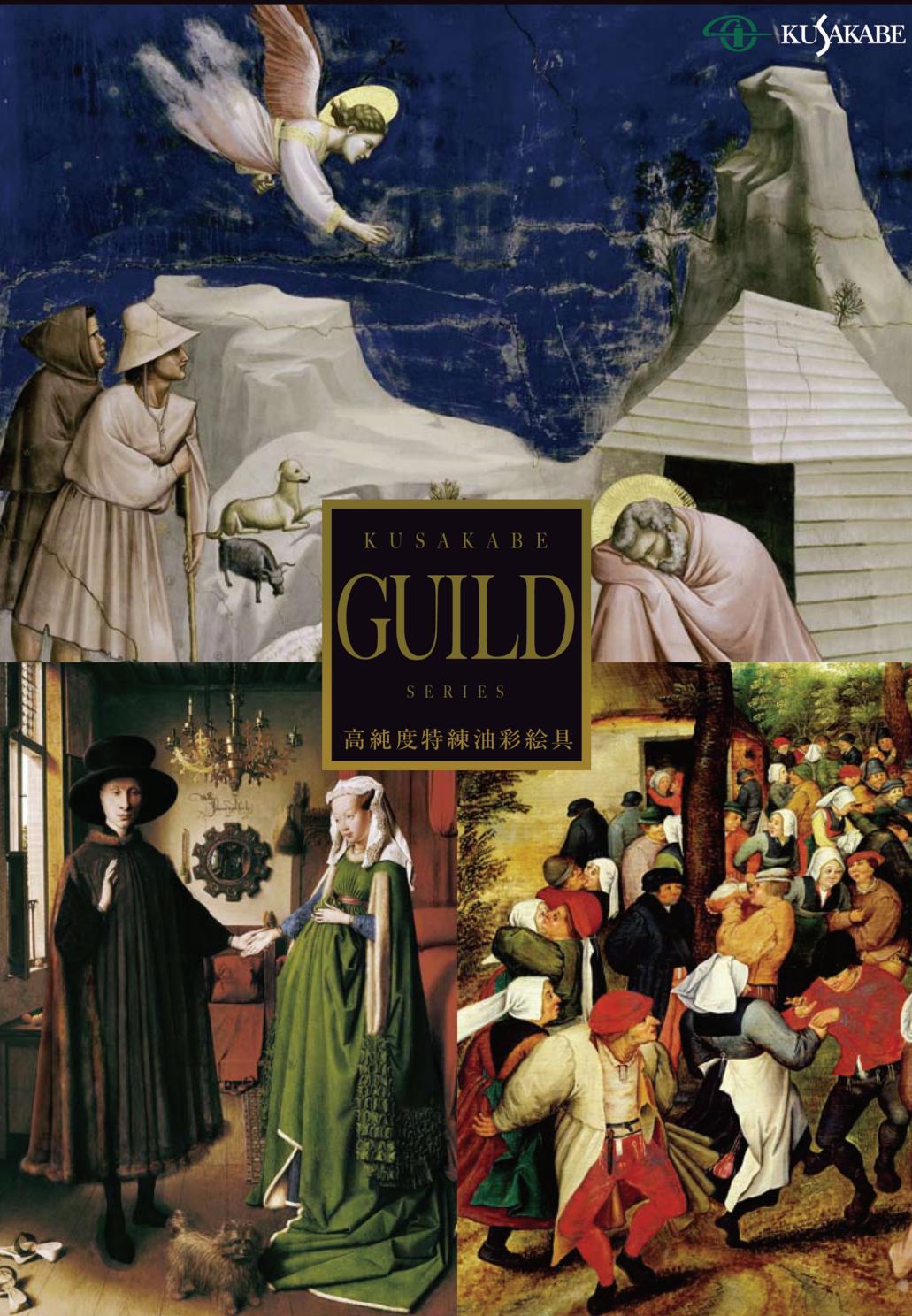
■堅牢度における●記号。

●●●: きわめて優れている
●●: 優れている
●: 良好

*堅牢度とは、化学的安定性、耐光性、酸・アルカリ・水分などに対する耐性、カビ・亀裂などに対する総合的評価を表します。

■隠蔽力における記号表記。

○: 透明色
○: 半透明色
◎: 半被覆色
●: 被覆色



KUSAKABE
GUILD
SERIES

高純度特練油彩絵具

永劫の輝き

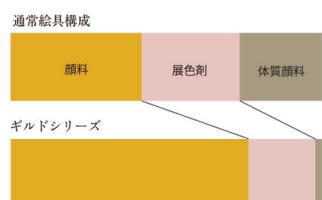
孤高の純度が極めた発色

ファン・アイク兄弟により油彩画が体系づけられたとされている15世紀。画匠は工房をもち、絵具一色一色が従弟たちにより手練されていたという。同じバーミリオンでも、工房の数だけ微妙に異なるバーミリオンが存在した。そして、その違いこそが画匠の解釈であり、画家のメチエであった。名画といわれる古画が、今なお残り、新鮮な感動を与えるのは、画匠のエスプリを具現化させる材料・道具への、あくなき追求があったからである。クサカベギルドシリーズは、絵画の本質を極めたい。現代の画匠への高純度特練油彩絵具。最高顔料含有率84%、平均熟成年数1.5カ年。この数字は、クサカベの歴史と伝統に基づき絵具の限界に挑戦したクサカベの技術と理想の結晶である。



高純度

豊醇にして純正、純良にして濃厚。ギルドシリーズは、厳選された高品位顔料を全て單一で使用しています。しかも顔料含有率は、バーミリオン77%、セルリアンブルー 84%など、現在求めうる最高の比率による調合となっています。展色剤は、乾性油中、その堅牢さにおいて最良の亜麻仁油(リンシード・オイル)を用い、タッチ保持のためのみ、微量の添加剤を一部使用するなど、通常含まれている調整のための様々な添加物は可能な限り排し、本来の「純粹な絵具」の姿を追求しました。従来の絵具組成にある希釈的体質顔料使用による“発色の甘さ”がなく、顔料それ自体のもつ強い発色が得られることが、その最大の特長です。また、高濃度のための薄塗り技法の際、優れた発色、パートとしての強さを發揮します。テンペラ混合技法をはじめ多様な用法に対応できる「作家」独自のメチエ創出を得られる、唯一の絵具です。



特練り

クサカベギルドシリーズは、この古典の脈々たる歴史に基づき、かつ今日的なファインケミカル(精密化学)技術を併せ、現代の「ギルド」を興したもので、その製法は、工房の生産システムを採用し、じっくり時間をかけて練り込んだ一色一色を完成させました。さらに、製法上の特徴として、展色剤であるオイルの選定にもファン・アイク以来適性を誇ってきた高品位亜麻仁油を使用していることです。亜麻仁油は、ケシ油(ボピーオイル)に見られる「早期収縮亀裂」や膜面の「軟化」がなく、被膜面の安定的堅牢性が得られます。その性能は、古画の今日ある現実が物語っています。極上亜麻仁油を増粘、濾過を繰り返したのち精製し、顔料が安定するまで幾重にも練り上げます。同時に比重、粉碎度、着色力のチェックを重ね、調合、吟味、厳選した「純粹な絵具」を完成すべく時間をかけ練り上げる、言わば、「作家たる、油彩画を語る人のための“特練り”」です。



熟成1.5カ年

ギルドシリーズは、開栓時にオイルと顔料が分離するなど、単なる工業的最少限度の安定性でなく、「顔料を分散し、練り込み、自然による安定を図る」を、その生産コンセプトとしています。熟成とは、絵具をチューブに充填する前に、顔料とオイルをさらになじませ安定した分散状態を作る大切な課程です。しかも練りやその他の工程に不備のある絵具は、この時期に結果が表れます。熟成期間をたっぷりとすることで、品質をチェックでき、まろやかで、極めて密度の高い練り調子をもつ絵具が誕生するのです。言わば、「絵具の“寝せ”期間」なのです。ギルドシリーズの熟成期間は通常絵具の約5倍。平均熟成年数1.5カ年をかけています。このたおやかな熟成が、ギルドシリーズの比類なき発色、彩度を生み、確かな被覆力と安定性を醸し出す秘密なのです。

